

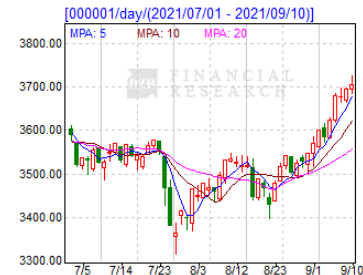


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,607.72	-271.66	-0.78	-2.15	13.07	30,606.48
NASDAQ	15,115.49	-132.76	-0.87	-1.61	17.28	12,888.28
日経225	30,381.84	373.65	1.25	4.30	10.70	27,444.17
上海総合	3,703.11	9.98	0.27	3.39	6.62	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,013.52	43.51	0.88	3.52	-3.79	5,211.29
ハンセン	26,205.91	489.91	1.91	1.17	-3.76	27,231.13
中国企業	9,386.84	203.26	2.21	1.02	-12.59	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は1.2%高と3週続伸、上海総合指数は3.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.2%高と3週続伸した。米金融緩和の長期化期待を背景にハンセン指数は週初の6日に節目の26000ポイント台を回復。中国当局によるゲーム企業への規制強化に対する懸念から9日に急落したが、週末10日には米中首脳による電話会談の開催を好感して反発した。本土市場では上海総合指数が週間で3.4%高と3週続伸。米国の金融緩和の長期化期待や中国の強い貿易統計の発表などを背景に堅調な値動きとなり、10日には節目の3700ポイント台を回復して約6年ぶり高値をつけた。

### 今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、本土連休を前に利益確定売りも

香港市場は弱含みの展開か。米中関係の改善や中国の景気対策への期待などを背景に足元で持ち直しの動きも見られるが、中国当局によるネット企業などへの統制強化の動きが引き続き懸念材料。本土との金融商品の相互投資解禁など支援材料も出ているが、週末から始まる本土の4連休を前に利益確定売りが出ることも予想される。一方、アップルの新製品発表があれば関連銘柄にとっては追い風となりそうだ。本土市場は先週末に上海総合指数が約6年ぶり高値をつけたことで利益確定売りが強まる公算が大きい。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团 (03690)	259.40	5.96
2 海底撈国際 (06862)	33.30	5.05
3 李寧 (02331)	104.80	4.90
4 CNOOC (00883)	8.07	4.81
5 招商銀行 (03968)	69.15	4.69
6 中国蒙牛乳業 (02319)	48.35	4.20
7 銀河娛樂 (00027)	52.70	4.05
8 安踏体育用品 (02020)	166.80	3.99
9 サズ・チャイ (01928)	26.55	3.71
10 九龍倉置業地産 (01997)	41.15	3.65

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 小米集団 (01810)	24.10	-5.12
2 信義ガラス (00868)	29.40	-4.70
3 恒安国際集団 (01044)	42.30	-4.08
4 恒隆地産 (00101)	18.02	-4.05
5 創科実業 (00669)	167.30	-3.80
6 碧桂園 (02007)	8.47	-3.31
7 長江インワ (01038)	44.30	-3.28
8 瑞声科技 (02018)	41.35	-3.16
9 長江和記実業 (00001)	55.25	-3.16
10 ヘトフチャイ (00857)	3.41	-3.13

## ▼今週の主なイベント

- 9月14日(火)
  - 【米国】CPI(8月)
- 9月15日(水)
  - 【中国】小売売上高、鉱工業生産(8月)、固定資産投資(1-8月)
- 9月16日(木)
  - 【香港】失業率(6-8月)

## ▼今週の期待材料

- ◆アップルが現地時間14日にイベント開催、新型iPhoneの発表があれば関連銘柄の株価刺激材料に
- ◆米中首脳が先週の電話会談で紛争回避を協議、7カ月ぶりの直接会談で米中関係改善への期待高まる
- ◆中国人民銀行が本土と香港・マカオ間の金融商品の相互投資の解禁を発表、本土マネーの香港流入拡大へ

## ▼今週の懸念材料

- ◆NY市場でダウ平均とS&P500指数が5日続落、NY市場の調整が香港市場にとっても相場の重しに
- ◆中国当局によるネット企業への統制続く、17日までにライバル会社への不当なリンクブロックの解除を指示
- ◆中国汽車工業協会発表の8月の新車販売台数が18%減少、半導体不足が響き7月から減少率が拡大

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : 本土と香港・マカオの金融商品の相互投資が10月に解禁
- ☆ 同程芸龍 (00780) : 今週末から中秋節の連休開始、旅行需要の回復に期待高まる
- ☆ 新天綠色能源 (00956) : 8月の発電量が22%増加、ガス販売量は18%増
- ☆ 華潤ガス (01193) : 重慶燃気集団の株式17%を追加取得、持ち株比率39%に拡大
- ☆ BYD (01211) : アップルが14日にイベント開催、新製品発表なら株価の刺激材料に
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 8月のカメラモジュール出荷量が20%増加
- ★ SOHO中国 (00410) : 米ブラックストーンによるTOB計画の白紙撤回を発表
- ★ 裕元工業 (00551) : 8月の純売上高が23%減と大幅な落ち込み、1-8月は10%増
- ★ テンセント (00700) : 中国当局がゲーム規制を強化、内容やキャラ設定まで踏み込む
- ★ 広州汽車集団 (02238) : 8月の新車販売台数が32%減少、1-8月は12%増

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。